おとうさんのせなか

　「ねむくなっちゃった。」

　ぼくがそういうと、おとうさんがおんぶしてくれました。おとうさんは、

「おもくなったな～。」

といって、あせをふきながらゆっくりあるいていました。

　ぼくはねようとおもったけど、だいすきなせなかにのれたのがうれしくて、にこにこえがおになりました。

　おとうさんのせなかは、おおきくて、あたたかくてきもちいいです。

　ぼくもおおきくなったら、おとうさんみたいなせなかになりたいとおもいました。

応募時（静岡県６歳）すずきりく